

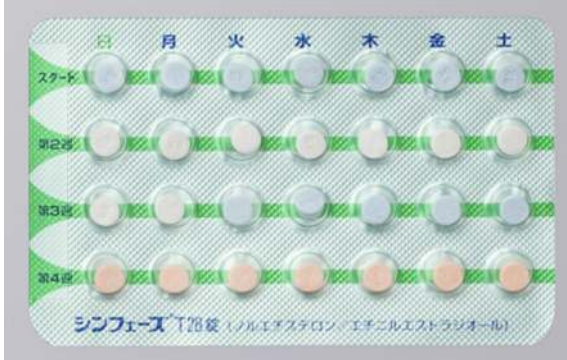
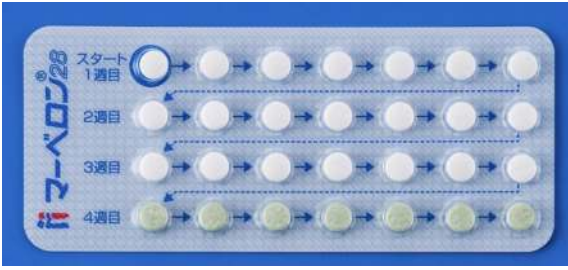
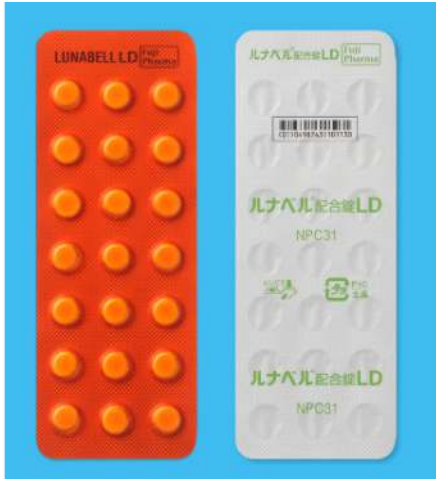
オンライン処方箋で入手できるピルの種類と特徴

ピルの種類	商品名
低用量ピル	・マーベロン ・ファボワール ・シンフェーズ ・トリキュラー ・ラベルフィーユ ・アンジュ ・ルナベルLD ・フリウエルLD
超低用量ピル	・ヤーズ ・ドロエチ ・ヤーズフレックス ・ジェミーナ ・ルナベルULD ・フリウエルULD
中用量ピル	・プラノバル
アフターピル	・ノルレボ ・レボノルゲストレル ・マドンナ ・ジョセイ ・エラ ・エラワン
ミニピル	・セラゼッタ ・アザリア

オンライン処方箋では、低用量ピルをはじめとする5種類のピルが処方されています。

■低用量ピル

トリキュラー	ラベルフィーユ
	
https://pharma-navi.bayer.jp/triquilar/basic-docs	https://www.info.pmda.go.jp/downloadfiles/guide/ph/670109_254910BF1055_1_02G.pdf

アンジュ	シンフェーズ
	
https://www.aska-pharma.co.jp/iryoiyaku/it em/detail.php?id=30	https://www.kaken.co.jp/medical/shashin/sy nphase.html
マーベロン	ファボワール
	
https://organonpro.com/ja-jp/marvelon/	https://www.fuji-pharma.jp/pd/productlist/
ルナベルLD	フリウェルLD
	
https://www.fuji-pharma.jp/pd/productpicture /265	https://www.mochida-sales.co.jp/dis/major/fr ewell.html

低用量ピルとは、2種類の女性ホルモンが主成分の医薬品です。継続的に服用すれば高い避妊効果が得られることから、避妊を希望する場合に処方されます。ただし、低用量ピルを飲んでいても性感染症は防げないため、性行為の際にはコンドームの併用が推奨さ

れています。なお、低用量ピルには避妊効果に加え、生理痛の軽減、生理不順の改善、貧血の改善、ニキビの改善などの副効果も期待できます。

低用量ピルの概要	
効果効能	避妊 月経困難症
副作用	吐き気、頭痛、乳房痛
飲み方	毎日決まった時刻に服用

■超低用量ピル

ヤーズ配合錠	ドロエチ配合錠
	
https://pharma-navi.bayer.jp/yaz/basic-docs	https://www.aska-pharma.co.jp/iryoui-yaku/it-em/detail.php?id=299
ヤーズフレックス配合錠	ジェミーナ配合錠
	
https://pharma-navi.bayer.jp/yazflex/basic-docs	https://nobelpark.jp/script/druginfo/drgDtl.php?id=22

ルナベルULD	フリウェルULD
	
https://www.lunabell.info/usage/	https://www.aska-pharma.co.jp/iryouiyaku/item/detail.php?id=266

超低用量ピルは、重い生理痛や子宮内膜症に悩む女性に処方される医薬品です。生理痛の緩和、経血量の減少、生理不順の改善、PMS（月経前症候群）治療などに用いられます。医師の判断により月経困難症・子宮内膜症であると判断された場合には、保険適用になります。ただし、避妊目的での服用を希望している方には、超低用量ピルは処方されません。

超低用量ピルの概要	
効果効能	月経困難症
副作用	頭痛、吐き気、不正出血
飲み方	毎日決まった時刻に服用

■ミニピル

セラゼッタ	アザリア
	
https://koenji.clinic/menu/pill/%E3%83%9F%E3%83%8B%E3%83%94%E3%83%AB	https://ikebukuroiris-fujinka.jp/medical-post/treatment/minipill/

ミニピルは、1種類の女性ホルモン(黄体ホルモン)のみで作られた医薬品です。血栓症の原因となる成分「卵胞ホルモン」が入っていないため、35歳以上の喫煙者、BMIが高い人、授乳中の女性など、血栓症リスクが高い人に処方されます。主な効果は避妊ですが、重い生理痛や子宮内膜症を改善する作用も期待できます。

ミニピルの概要	
効果効能	避妊
副作用	頭痛、吐き気、ニキビ、生理痛
飲み方	毎日決まった時刻に服用

■中用量ピル

プラノバール

プラノバール https://www.aska-pharma.co.jp/iryouiyaku/item/detail.php?id=169

中用量ピルは、主に月経移動(生理日の調整)に使用される医薬品です。服用している期間は一時的に生理が止まり、服用をやめると生理が再開します。なお、中用量ピルは多くの女性ホルモンが含まれるため、血栓症などの副作用が出やすい傾向があります。そのため、40歳以上など血栓症リスクの高い女性は使用できません。

中用量ピルの概要	
効果効能	月経移動(生理日の調整)
副作用	頭痛、吐き気、不正出血
飲み方	早める場合: 前月の生理5日目から、毎日定時刻に10日ほど服用 遅らせる場合: ずらしたい生理日の7日前から毎日定時刻に服用

■アフターピル

ノルレボ	レボノルゲストレル
	
https://www.aska-pharma.co.jp/iryoiyaku/item/detail.php?id=221	https://www.fujipharma.jp/__upload/20190319_nr.pdf
マドンナ	ジョセイ
	
https://imprint-india.org/product.php?pid=613	https://www.biofarma.com.tr/en/josei-2/
エラワン	エラ
	
https://www.ellaone.com.au/	https://www.ella-now.com/

アフターピルは「緊急避妊薬」の1つで、避妊に失敗した女性のための医薬品です。一時的に排卵を抑制する作用があり、性行為の後に服用することで妊娠を防ぎます。ノルレボやレボノルゲストレルの避妊率は24時間以内の服用で99%以上です。また、エラワンは避妊率98%のアフターピルです。

アフターピルの概要	
効果効能	緊急避妊
副作用	消退出血、不正出血、頭痛、吐き気
飲み方	性交後72時間または 120時間以内に服用